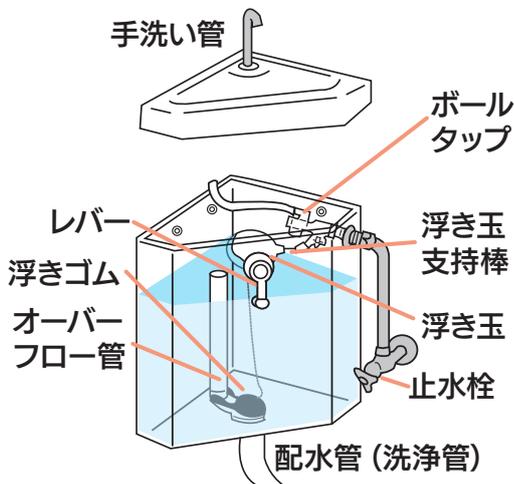
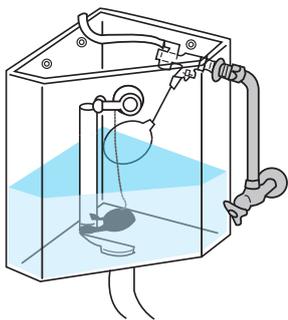


水洗トイレの修理 ～水が止まらないとき～

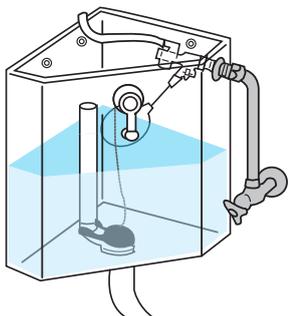
水洗タンクの仕組み



使っていない状態のときは、水面はオーバーフロー管の先より2～3cm低くなっています。(標準水位)



レバーをまわすと鎖によって浮きゴムが開き、タンク内の水が便器に流れ出します。タンク内の水面が下がると浮き玉も下がり、ボールタップの弁が開いて給水が始まります。



レバーが戻ると浮きゴムは閉じ、ボールタップからの給水で水がたまっていきます。水面が一定の位置になると浮き玉も上がり、ボールタップの弁が閉じて、給水がストップされます。

水が止まらない原因を探す

まずはタンクの中をのぞいてみましょう。水面の高さを確認してみると、原因を探ることができます。



●水面がオーバーフロー管の上より低い場合

→浮きゴムの点検と交換

さわると手が黒くなる時は浮きゴムの交換時期です。浮きゴムの耐用年数は3年が目安です。クサリを外して取り替えるだけです。クサリは2環

ほどたるむようにしておいてください。購入する前に、ご使用の浮きゴムの型を確認しましょう。

さわっても黒くならないときは、浮きゴムの部分にごみがからんですき間ができていますので、きれいに洗って取り付けなおしてください。



●水面がオーバーフロー管の上より高い場合

→浮き玉の点検

浮き玉が外れているときは、浮き玉の支持棒を右に回してねじ込み、ナットを締めておきます。

→浮き玉を持ち上げると水が止まる

ネジ止めされている浮き玉を外して、支持棒をへへの字に少し曲げてみてください。曲げにくいときはペンチではさんで曲げてください。取り付けるときには浮き玉が曲がっているので、回転できない場合がありますが、そのときはもう一度まっすぐにして元にネジこみ、ボールタップに負担がかからないようにしながら指やペンチでへへの字に曲げてください。

浮きゴム、浮き玉をチェックしても止まらない場合は
ボールタップの点検と交換をしましょう
ウラへ →

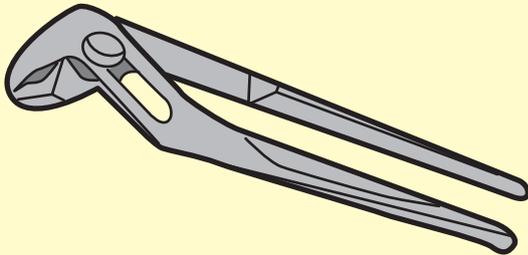
用意するもの

修理を始める前に必ず止水栓を止めましょう。

水が止まらなくなった場合、ひとまず応急処置として止水栓を閉めて水を止めましょう。タンク内の水が空になれば、水は止まります。

点検して修理をする際には以下のような工具・道具を必要に応じてご準備ください。

●ウォーターポンププライヤ



ナットの取り外しなどに使います。表面に傷をつけないためには、ボロ布をかませるといいでしょう。

●スタビドライバー

柄の短いドライバーです。狭い場所で重宝します。



●シールテープ

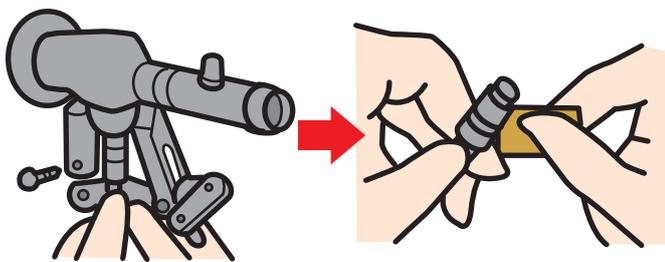
パイプの根元に巻いて水漏れを防止するテープです。



●サンドペーパー (600番ぐらい)

●ドライバー ●スパナ ●ボロ布

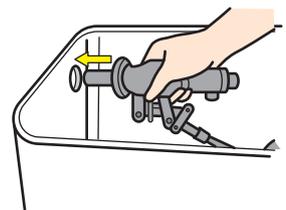
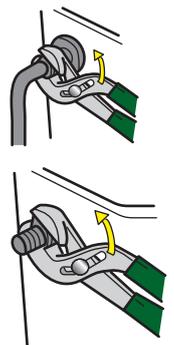
ボールタップの点検と交換



ボールタップの下についているビスを外すとピストンバルブが外れますので、ピストンバルブをまず点検してください。水あかなどで汚れている場合は、600番ぐらいのサンドペーパーで磨いてください。またバルブの先端にあるパッキンが減っているようであればこれもボールタップ内用のパッキンを購入して交換しましょう。指で押すようにしながら上に上げると外れます。

●ボールタップを交換する場合

1. タンクの外側のナットをゆるめて給水管を外します。
2. ボールタップをタンクに止めている締め付けナットを外すと、ボールタップは内側から外れます。
3. 新しいボールタップを取り付ける時は、外したときと逆の順序で、パッキンを必ずつけて取り付けてください。



※緑の文字は、デジオで取り扱っている商品です。

禁複製



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

アヤハディオアプリ 会員募集中!



アヤカ
ポイントも
貯まる!



アプリ
ダウンロードは
こちら▶▶



Download on the
App Store



ANDROID APP ON
Google play

